

第三十九回帝國議會 東京帝國大學及京都帝國大學臨時
院 政府支出金ニ關スル法律案外二件

〔學校及圖書館特別會計資金ノ一部ヲ一
般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案
京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル
法律案〕

委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正六年七月六日午前九時三十七分開議

出席委員左ノ如シ

兒玉 亮太郎君	高岡 唯一郎君	萩 亮君
齋藤 壽雄君	齋藤 紀一君	高見 之通君
藤野 正年君	米田 穰君	日比野 寬君
小林 嘉平治君	行德 健男君	河西 豐太郎君
牧口 義矩君	我如古樂一郎君	白河 次郎君

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 岡田 良平君

出席政府委員左ノ如シ

文部次官 田所 美治君

文部書記官 山崎達之輔君

文部省專門
學務局長 松浦鎮次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案

學校及圖書館特別會計資金ノ一部ヲ一般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案
京都帝國大學臨時政府支出金ニ關スル法律案

○委員長(米田穰君) 開會致シマス、前會ニ引續イテ質問ヲ繼續スルコトニ致シマス

○兒玉亮太郎君 一寸文部大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、是ト類似ノ質問應
答ガ既ニアツタヤウデスガ、尙ホ少シ明瞭ヲ缺キマスノデ特ニ伺フ次第デアリマスガ、今度
ノ兩大學ノ擴張案ノ内容ハ、採鑛冶金應用化學ト云フコトデスガ、此應用化學ニ付
テ一言御伺シタイノデアリマス、是ハ更メテ言フマデモナク、應用化學ハ工業ノ實際ニ適
合シタ研究ヲヤツテ往カナケレバ何ニモナラナイト思ヒマスガ、歐羅巴ノ戰亂以來我が内
地ニ於テハ應用化學ノ實際ノ研究ニ於テ、餘程進歩シテ居ルヤウニ私ハ實驗シテ居ル
ノデアリマス、昨年ノ春九州ノ或ル大會社ノ工場ヲ見タ時ニモ、其工場ノ技師ノ話ニ
依レバ、今迄專門ノ學校等ニ於テ學ビ得ナカッタ新ラシイ面白イ研究ガ出來テ居ル、
マダノ染料ノ如キモノニ付テハ不十分デアルガ、戰爭ガ今後一二年續クハ續ク間ニ
非常ニ有益ナ面白イ研究ガ出來ルト思フ、結局歐羅巴先進國ニ負ケナイヤウナ物ガ出
來ルヤウニナルカモ知レヌト云フヤウナ話デアリマスガ、昨年ヨリ今日マデドレダケノ進歩
シタカ確カニ知リマセヌガ、免ニ角我が民間ノ工業界デハ應用化學ノ實驗研究ト云フコ
トニ付テ、非常ニ進歩シテ居ルヤウナ風ニ私ハ觀テ居ル、ソレデ此歐羅巴ノ先進國トノ
競爭ニ對應スルカ云フヤウナ大キナ問題ハ、姑ク措キマシテ、我が内地ノ工業界ノ現在
進歩シツ、アル狀態ト比較シテ、ソレニ對應スルダケノ研究ガ少ナクモ我が帝國大學ニ
於テ出來ナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、サウ云フ事ガ勿論出來ルト信ジマスガ、ド
ウモ今日マデノ實況ヲ色ノ聞イテ見マスルト云フト餘程覺束ナイノデハナイカト思フ、尙ホ

繰返シテ申シマスルト歐羅巴ノ先進國ノ研究ノ程度ト云フヤウナコトハ姑ク別問題トシ
マシテ、我が内地ノ今日マデノ工業界ノ進歩ニ比較シテ、未ダソレダケニデモ及バナイト
云フヤウナ我が帝國大學ノ工科大學ノ講堂、若クハ實驗室ノ狀態デアルト云フコトハ
甚ダ是ハ私ハ遺憾ニ思フ、ソレデ今度兩大學ノ擴張案ガ提出ナサレルニモ拘ラズ、先日
來ノ御説明ニ依リマスルト現在ノ教授ハ其儘ニシテ置ク、唯助教教授ダケ少シ増スト云フ
コトデアリマスガ、ソレダケノ御計畫今日ノ我が内地ノ實際ノ工業界ノ進歩ニ對應スル
ダケノ研究ガ遂ゲラレカ、ソレデスラ懸念シテ居ル、場合ニ依テハ私共ノ考ハ今日此民
間ノ工業界ニ於テ新ラシキ研究ヲシテ居ル、其等ノ意見ヲ大學ニ徵スルト云フヤウナ所
謂科外講義ノ制度ヲ設ケルト云フヤウナ必要ハアリハセヌカ、現在ノ大學ノ教授及助教
授ダケデ果シテ我が國內ニ於ケル工業界ノ進歩ニ對應スルコトガ出來ルヤ否ヤ、ソレダケ
ノ研究ヲ遂ゲ得ルヤ否ヤ、之ニ付テノ御抱負ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(岡田良平君) 唯今御尋ノ要旨ハ、詰リ世間ノ學問ガ大變ニ近頃進歩
シテ居ルガ、却テ大學ノ方ガ世間ノ進歩ニ後レヤシナイカ、其後レナイヤウニ當局ニ於テ
ハ相當ノ自信ガアルカト云フヤウナ趣意ノ御尋ト了解致シマスガ、洵ニ御話ノ通りニ世
間ノ工業界ト云フモノハ餘程進歩致シテ居ル、大キナ會社ナドニ於テハソレノ專門ノ
人ヲ置イテ研究ニ從事サシテ居ルト云フヤウナ有様御坐イマスカラ、以前ニ比較スル
ト云フト餘程顯著ナル進歩ヲ致シテ居ル、併ナガラ大學ハ依然トシテ進歩シナイカト申
シマスルト、大學モ相當ニ進歩致シテ居ルノデ、併シテ自ラ大學ノ方ノ努メマスル所ト會
社ナドノ努メマスル所トハ區別ガアリマシテ、勿論サウハハッキリ區別ガ付クノデアリマセヌ
ガ、大體ニ申シマスルト云フト、會社ノ方デハ例ヘバ染料會社ナラ染料ノ事ニ専ラ力ヲ盡
シマシテ、研究ヲ深ク々々進メテ參ルト云フヤウナヤリ方ヲシテ居リマスカラ、即チ或ル一
種ノ種類ノ染料ノ研究ト云フトニ至リマシテハ、是ハ實際會社ノ方ガ進シテ居ルコト
ガアルト思フ、例ヘバ外國デ申シマシテモ「バザウシユ」ノ染料會社ノ如キモノハ、今日ノ如
何ナル教授モ及バヌヤウナ研究ヲ染粉ニ付テヤツテ居ルト云フコトデ、是ハドウモ性質ガサ
ウアルベキカト思ヒマス、大學ノ方デハ先ヅサウ云フ、或ル特別ナ事ニ深入リシテヤルト申
シマスヨリハ、寧ロ一般ノ原理ニ屬スル方ノ事ヲ研究致シテ、サウシテ研究シタ結果ヲ以
テ何處ヘ往ツテモ應用ノ出來ルヤウニ、專ラ原則ノ方ノ側ノ研究ニ努メルト云フ立テ前
ニナツテ居ルノデアリマス、併シサウカト申シテ原則ダケヲ研究シテ、其應用ノ方ヲ顧ミナ
イト云フノデハナイ、殊ニ應用化學ノ如キモノニ至リマシテハ、勿論應用ノ事モヤリマス
デアリマスガ、會社ノ側デアリマスガ如キ或ル特別ノ事ニ付テ深入リマスルト云フコト
ハ、大學デハ出來マセヌノデアリマスガ、併シ大學ノ方ニ於テモサウ云フ研究ニ付テハ、サ
ウハハッキリ何處マデガ原則デ何處マデガ應用ト云フコトハ區別ハ付クモノデアリマセヌガ、
應用ノ方面ニモ研究ハ致シテ居リマス、現ニ最近ニ至リマシテ顯著ナル成績ヲ擧ゲテ居
リマス、過日申上ゲマシタ磁鐵「バーナメントマグネット」ト申シマス磁カノ減ジナイ鋼鐵デ
アリマス、之ヲ成功致シマシテ昨日ノ新聞デハ發表シテアリマスガ、實際ニ工業トシテ

大イニ製造ニ著手スルト云フコトニナッタヤウデアリマス、大阪ノ住友デハハヤルヤウデアリマスガ、是ナドハ餘程有益ナ發明サウデ、或ハ飛行機、或ハ自動車ト云フヤウアナノ發動機ニ應用スルモノデアルサウデアリマス、ソレカラ之モ過日申シマシタガ「セルロイド」ノ燃エナイヤウナ物ナドガ立派ナ工業トシテ成立ッテ居ル、ソレカラ藥品ナドノ中ニモ例ヘバ六百六十六號ノ注射藥デアリマスガ、アレナドハ京都帝國大學製造致シタガ爲ニ、是モ舶來物ニ少シモ劣ラヌヤウナ優良ナ品物ガ出來マス、京都帝國大學ノ病院ニ於キマシテハ既ニ之ヲ採用シテ居ル、ソレカラ又世間ニモ多少發賣シテ居ルヤウナ風ニ、相當成績ハ今日マデ擧ゲテ居リマス、併ナガラ御話ノ通りニ到底大學ノ教授ダケデハ、サウ細カイコトノ研究ニ及ブコトニハ參リマセヌカラ、實際ノ會社ニ從事シテ居ル人ニ科外講義ヲ設ケマシテ、其研究シタ所ヲ大學ノ學生ニ聽カセテ貰フト云フコトモ最モ必要カト思フ、唯今マデモ多少ヤッテ居ルデアリマスガ、併シ將來ニ於テハ尙ホ一層其必要ヲ認メルカト思ヒマス

○兒玉亮太郎君 尙ホ一點伺ヒマスガ、民間ノ實際ノ研究ヲ能ク積ンデ居ル人ノ意見ヲ徵ス、即チ科外講義ヲヤルト云フコトハ將來益、努メテ御遣リニナルコトヲ希望致シマスガ、ソレト同時ニ民間ニ於テハソレダケ工業ガ進歩致シテ居ルデアリマスカラ、帝國大學ノ教授ガ實地見學ヲヤルト云フコトハ益、必要デアラウト思フ、殊ニ應用化學ノ如キモノハ殆ド工業ノ進歩ノ基礎デアリマスカラ、斯ウ云フモノニ付テハ虚心坦懷、大學教授ガ進ンデ一兵卒トナッテ民間ノ進歩シタル工業界ニ入り込ンデ、二箇月ナリ三箇月ナリ實地研究ヲスルト云フ態度ヲ執ルト云フコトモ必要デアラウト思ヒマスガ、サウ云フコトヲ御獎勵ニナルヤウナ御考ハアリマスカ

○國務大臣(岡田良平君) 現在ニ於テハ工科大學ノ教授並ニ學生ハ暑中休ミヲ利用致シマシテ、研究旅行ヲスルコトニナッテ居リマス、ソレ等ノ教授ハ學生ヲ率井テ或ハ工場トカ、或ハ鑛山トカ云フヤウナ各處或ハ造船所ナドヘ出張致シマシテ、サウシテ自分モ研究ヲシ、亦學生ヲ指導スルコトヲヤッテ居リマス、併シソレナドモ旅費ナドニ制限セラレテ十分ナ事ハ出來テ居ラヌガラウト思ヒマスガ、是モ必要デアリマスカラ、成ベク努メタイト思ッテ居リマス

○兒玉亮太郎君 私人言葉ガ足ラナカッタヤウデアリマスガ、今實地觀察ト云フコトハヤッテ居ルガ、モウ少シ深ク教授ガ工場ヘ入込ンデ、自ら研究生トナッテ研究スルト云フ態度デ、新シク進歩シタ技術ヲ知り又民間ノ實際家ト教授トガ互ニ相談相手トナッテ、工業ノ進歩ヲ圖ルコトニスルノガ宜イカト思ヒマスガ、免ニ角モウ少シ大學ノ工科ノ教授ト民間ノ實際家ト相提携シ相調和シテ行クコトヲ進メタイト思ヒマスガ、サウ云フ事ニ付テハ是ハ一方カラ云フト費用ノ點モ關係シマスカラ、實行ガ至難カモ知レマセヌガ、サウ云フ事ヲヤルノハ獨逸其他ノ進歩シタ國ノ歴史ニ徵シテモ餘程必要ト思ヒマス、我國ニ於テ文部當局ハサウ云フ事ヲ大ニ獎勵サレル御考アリマスカドウカ

○國務大臣(岡田良平君) 大學ノ教授ガ工場ヘ入込ンデ其處デ研究スルト云フコトモ寔ニ結構ナ事デアリマスガ、事實一方ニ於テハ大學ノ授業ヲ廢スルコト云フコトニナリマスシ、一方ニ於テハ工場ニ於テ其處ノ設備ヲ借りテ、サウシテ研究ヲヤラナケレバナラヌト云フ譯デアリマスカラ、其方法ハ實際ニ於テ困難ナ事ガアリハセヌカト思ヒマスガ、

私ノ考デハ必ズシモ工場ヘ二三箇月入込ンデヤリマセヌデモ、其工場デ研究シタ事ヲ覺エルコトダケハ専門家アレバ三四日ノ研究デモ、研究ニ依テ成功シ、又事柄ヲ覺エルダケハ譯ガナイ、唯今申上ゲマシタ六百六十六號ヲ拵ヘルノデモ、本人ハ數年ノ苦心ヲシテ拵ヘルデアリマスガ、併シ斯ウ云フモノヲ拵ヘルノデアルト云フコトヲ實地ニ就テ一日モ見レバ専門家ニハ分ルノデ、直グソレニ依テ實際ニヤッテ見ルコトモ亦生徒ニ教フルコトモ出來マスカラ、必ズシモ工場ニ三箇月入込ンデヤルト云フ必要ハアルマイト思ッテ居リマス、併シ是等ノ點ハマダ考ヘタコトハアリマセヌ、研究旅行トシテ旅行スルコトハ實際ヤッテ居リマスガ、御話ノヤウナ事ニ付テハマダ十分考ヘタ事モ無いデアリマスカラ、尙能ク考ヘテ見マスシ、又専門家ノ意見ヲモ徵シテ見デ、果シテソレガ有益ニシテ必要ナル事デアリマスレバ、成ベク實行スルヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス

○委員長(米田禮君) 兒玉君ニ伺ヒマスガモウ宜シウ御坐イマスカ

○兒玉亮太郎君 私人質問ハ宜シウ御坐イマス

○委員長(米田禮君) 他ノ諸君ニ別段大臣ニ對シテ御質問ガ無ケレバ、大臣ハ他ノ方ヘ御出席ナサラネバナラヌト云フコトデアリマスガ、モウ是デ大臣ハ他ノ處ヘ行カレテ宜シウ御坐イマスカ

(「モウアリマセヌ」ト呼フ者アリ)

(國務大臣岡田良平君退席)

○委員長(米田禮君) 如何デ御坐イマス質問ハマダアリマスカ

(「終了シテ下サイ」ト呼フ者アリ)

○委員長(米田禮君) サウスレバ是デ終了シテ宜シウ御坐イマスカ(「異議ナシ」ト呼フ者アリ) サウスレバ御諮リ致シマスガ、此三案ヲ一括シテ議題ニ供シマスカラ、三案ニ對シテ御意見ヲ御述べ下サイ

○兒玉亮太郎君 原案賛成

(「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(米田禮君) 三案ヲ一括シテ御異議ハ無い、即チ原案通り可決スルコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(米田禮君) 御異議ガナケレバ滿場一致ヲ以テ原案ニ可決致シマス

○白河次郎君 可決シマシタ上ハ一言政府委員ニ望ンデ置キタイト思フノハ、先日モ申シテ通り大阪高等工業ノ擴張ハ成ベク急ガレン事ヲ希望致シマス、同時ニ大正九年度マデニ互ッテ居ルヤウデアリマスガ、非常ナ大建築デモナシ、亦財政ノ都合ト云フコトデモナシ、賣下ゲタ代金ヲ一時ニ政府ニ御取立ニナルノデアリマセウ、年度ヲ繰上ゲルコトガ出來マスレバ早クオヤリニナルコトヲ望ンデ置キマス

○高岡唯一郎君 尙ホ政府委員ニ確メテ置キマスガ、此次ノ議會ニ工科其他ノ新計畫ヲ立テ、御提出ニナルカ、之ヲ念ノ爲ニ尙ホ伺ッテ置キマス

○政府委員(田所美治君) 白河君ノ御注文ニ付テハ委細承知致シマシタ、今度御相談シテ居リマス事ハ過日申上ゲタ通りデアリマスガ、新設學校モ計畫シテ居ルコトデ

アリマス、勿論既設ノ計畫ニ於テモ面積ニ餘裕ガ有リ、經濟ノ立ツ限リハヤル考デアリマスカラ其點ハ諒承致シマシタ、尙ホ六年度カラ九年度マデ四年ニ亙リテ居リマスガ、是モ大丈夫ヲ取ツタ計畫ニシテアルノデアリマスガ、既ニ緊急ト認メテ此議會ニ御相談シタ位デアリマスカラ、二年間デ出來レバ繰上ゲタイ積リデアリマス、二ツトモ諒承致シマシタ、高岡サンノハ此次ノ議會ニ相當新シイ計畫モアルデアラウ、斯ウ云フコトデアリマスガ、今度御相談ヲ致シマシタノハ二高等工業學校、ソレカラ東北ノ醫科大學デアリマスガ、昨モ委員デ新設ノ計畫ハ數々アルト云フコトハ申上ゲテ置イタ通りデアリマス、幸ニ本日ノ豫算委員會デ諸般ノ計畫ガ御是認ニナリマスレバ増設ノ計畫ニ付キマシテモ案ヲ具シテ、臨時教育調查會ト云フモノガ出來マスレバ、其等ニ御相談ヲ致シマシテ計畫ヲ始メテ見タイト考ヘテ居リマス、今何ヤト云フコトハ申上ゲラレマセヌ

○委員長(米田饒君) ソレデハ是デ閉會致シマス

午前十時一分散會

大正六年七月二十四日印刷

大正六年七月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局